

札幌らしい特色ある学校教育「つながり」の視点を意識した取組の推進について

【雪】【環境】【読書】をつながりて **チェンジ!!**

「札幌らしい特色ある学校教育」とは

【雪】【環境】【読書】の三つのテーマを中核として、札幌市立の全ての園・学校が共通に取り組むものです。札幌の素晴らしい自然環境・人的環境・文化的環境を生かしながら、体験的な活動や、生涯にわたり学び・向上し続けようとする意欲を培うための基盤となる学習活動を教育課程に明確に位置付け、知・徳・体の調和のとれた学びを推進します。



幼・小・中・高の

取組開始から10年を経て令和元年度からリニューアル 幼・小・中・高の つながりを意識する視点

リニューアルに当たり、「つながり」等の新たな視点を設けました。校種間等でつながることで、系統性・連続性のある教育を実現することができ、資質・能力の育成に向けた、教育効果の最大化が期待できます。

雪国札幌を考える
【雪】



オリンピック・パラリンピック教育の推進

もう一つの視点
発信

学びの基盤となる
【読書】



図書館の学習センターとしての機能

SDGsの考え方

未来の札幌を考える
【環境】



札幌市の文化的施設の活用

つながりのステップ

ステップ5

「子どもがつながり続ける」
・子どもによる主体的な活動になるよう教育課程に位置付ける。

ステップ4

「子どもが目標、活動でつながる」
・子どもが参加する行事、授業等を実施。

まずはこのステップまで



ステップ3

「園、学校全体でつながる」
・教職員による見学、参観、交流、研修等の実施。

ステップ2

「担当者がつながる」
・実務担当者を知り、情報共有を行う。

ステップ1

「管理職がつながる」
・情報を集め、実務担当者につなげる。

・【雪】【環境】【読書】の取組が、他の取組を伴い、各園・各学校らしい特色ある学校教育につながり、ひいては、信頼される学校の創造に資することを期待しています。
・札幌の学校教育で育った全ての子どもや関わった人たちが、【雪】【環境】【読書】を共通の言葉として、札幌の教育や学びについて、語り合えることを期待しています。

雪国札幌を考える【雪】

幼稚園

- ・様々な雪遊び（雪質に合わせた遊び、全身を使ったダイナミックな遊び、雪の不思議さへの気付きなど）
- ・スノーキャンドルづくり
- ・必要な冬の身支度の自立

中学校

- ・ゲレンデでのスキー学習
- ・スケートや歩くスキーなど地域の実状に応じた取組
- ・生徒会主催での雪中での活動
- ・地域の除雪ボランティア、消火栓の除雪

これまでの取組例 ※ [] 内は教科等名 [総合]：総合的な学習（探究）の時間

小学校

- ・アイスクヤンドルづくり [総合]
- ・雪を使った遊び場づくり [生活]
- ・低学年のグラウンドや公園、中・高学年のゲレンデでのスキー学習
- ・雪国の暮らし、除雪の学習 [社会]

高等学校

- ・ゲレンデでのスキー学習、スケート、歩くスキーなど
- ・雪まつりへの参加（ボランティアスタッフ、美術部の雪像づくりコンテストなど）

つながいで
チェンジ!!

イベント型つながり

「幼小」のつながり

- ・幼児と児童によるスノーキャンドルを制作する活動などは、児童が指導役になって、作り方について交流することで、雪の楽しさを伝えることができます。明かりに使うペットボトルの加工などの工作も、児童と一緒にできることも増えます。
- ・児童が作成した雪遊びコーナーに、幼児を招待することで、児童は相手を意識した活動にチェンジすることができます。
- ・児童のスキー学習後にグラウンドのスキー山を利用することで、ダイナミックな雪遊びをすることができます。

「小中」のつながり

- ・互いの総合的な学習の時間に関する取組内容を理解することで、児童生徒の雪に関する学習が、より積み重ねられたものになります。
- ・小学校の取組を理解することで、中学校における冬に取り組む運動の工夫につなげることができます。
- ・町内会主催のスノーキャンドル等の取組に参加し、地域を通してつながることができます。

「高」におけるつながり

- ・地元の企業や関係機関と連携することで社会とつながり、高校生の探究的な学びにつながります。
- ・プレゼンテーションを異校種に公開するなどの取組も効果的です。



力を合わせてかまくらを作る幼児



建設局雪対策室が主催する雪体験授業で除雪機械について学ぶ児童



グッドジョブ!!

ポイント 近隣で同じ取組を実施している場合、活動の様子を互いに伝えることで、子どもに見通しをもたせることができます。地域や保護者と共に活動することも効果的です。

未来の札幌を考える【環境】

これまでの取組例 ※ [] 内は教科等名 [総合] : 総合的な学習(探究)の時間

幼稚園

- ・水飲み時などにおける節水や照明の節電
- ・ごみに関する意識、簡単な分別への意識の高まり
- ・廃材の活用など、ものを大切にする意識の高まり

中学校

- ・CO₂の排出量を測定、比較 [総合]
- ・環境、食物連鎖の学習 [理科]
- ・生徒会、委員会が主体となった取組
- ・環境問題の調査、啓発ポスターの作成 [保健体育]

小学校

- ・農業体験、植栽活動
- ・太陽光パネルや電気使用量、発電状況提示ディスプレイの活用
- ・牛乳パック等のリサイクルの取組
- ・ごみの処理、水道に関する学習 [社会]

高等学校

- ・講師を招いてグループでの実験、演習に基づくポスターセッション [総合]
- ・P C等を活用した環境ポスターの作成 [情報]
- ・節水、節電、ごみの分別意識の定着

つながいで
チェンジ!!

カリキュラム型つながり

幼

「**節水、節電、ごみの分別など、限りある資源に対する意識を高める継続した取組**」
発達の段階に応じて、内容や取組方法を高度化することで、継続して学習を進めることができ、環境意識の高まりが期待できます。

小

「**遊び、生活、総合的な学習の時間、総合的な探究の時間に関する内容の交流や相互理解**」
互いに内容を理解することで、系統性・連続性を意識した、より積み重ねた学習となります。

体験を通して遊び、学ぶことで環境意識の素地づくりをします。

「**実験や演習に基づく学習**」
課題に対する根拠や理論をもって探究する力を培います。

「**SDGsの理念を理解する取組**」
持続可能な社会の実現について、それぞれの段階に応じて考えます。

中

高



自然環境の研究成果を地域の方にプレゼンテーションする中学生



環境に優しい学校祭を目指して、ごみ拾いやごみの分別をする高校生



グッドジョブ!!

ポイント

- ・札幌の特色を生かした同じテーマの取組を、校種を貫いて積み重ねていくことにより、環境について考える力がより一層高まります。
- ・地域や関係機関、専門家と連携した取組で、学びの質が高まります。

学びの基盤となる【読書】

これまでの取組例 ※ [] 内は教科名

幼稚園

- ・毎日の読み聞かせ
- ・絵本を自分や友達と一緒に見たり、絵本で調べたりする生活
- ・本にいつでも手が届くような環境整備
- ・幼児への本の貸し出し
- ・家庭への読書活動の啓発
- ・絵本を題材にした遊びの広がり

小学校

- ・日常的な朝読書の取組
- ・地域開放図書館における本の紹介、環境づくり（開放司書、ボランティアの支援）
- ・新刊図書の見せ方の工夫
- ・読み聞かせ（図書館ボランティア、教師、児童、保護者など）
- ・おすすめの本の紹介 [国語]

中学校

- ・日常的な朝読書の取組
- ・図書局、図書委員会による本の紹介や推薦図書ポスターの作成
- ・学校司書を活用した授業

高等学校

- ・日常的な朝読書の取組
- ・絵本のよさの再確認
- ・図書局による本の紹介や推薦図書ポスターの作成
- ・司書による図書館、本の整備
- ・本のカバーづくりや作品づくり

つながいで
チェンジ!!

イベント&カリキュラム型つながり

- ・地区図書館を積極的に活用したり、中央図書館のイベントを活用したりすることで、生涯学習としての読書活動へつなげることができます。
- ・先生や地域の方をはじめ、児童や生徒による幼児への読み聞かせ活動など、他校種への読み聞かせ活動を組み合わせると、学校内ではできない、新しい学びにつながります。
- ・北海道にゆかりのある作家の本や、北海道を扱った本などについて、同じ本を他校種の子どもが読み、絵に表したり、本の紹介をしたりすることで、校種に合わせた「発信」につながります。
- ・互いの取組を知ることで、各園・学校における読書に関する様々な取組が、効果的に札幌市の読書好きな子どもを育てることにつながります。



小学生に読み聞かせをする中学生



グッドジョブ!!

各園・学校において、様々な工夫された取組が行われていることから、**ポイント** それぞれの取組を知ることで、自主的に取り組もうとする思いを高め、更に活動を工夫することができます。

編集委員

札幌らしい特色ある学校教育推進事業における [つながり] 等研究推進委員

委員長 北本 雅人（発寒小学校校長）

委員 石川香菜子（白楊幼稚園教諭）

長谷川洋志（中央小学校教諭）

小紙 雅之（屯田北中学校主幹教諭）

齋藤 周（平岸高等学校教諭）

事務局 札幌市教育委員会教育課程担当課

発行 令和2年3月札幌市教育委員会